

# ガイダンス施設学習展示室 展示案(改) 140826

学校6年生からとする

展示パネルの入れ替えを可とする ピクチャーレール

※【太文字】は現状で展示予定しているもの

|                   | ホール   | I 久留倍官衙遺跡について   | II 古代の役所の姿と伊勢国朝明郡   | III 伊勢国朝明郡と壬申の乱・聖武天皇東国行幸   | エピローグ  | 体験型学習  | 映像展示   | 説明プログラム  |
|-------------------|---|---|---|--|--|--|--|--|
| 目的                | 久留倍官衙遺跡への導入   | 発掘調査で確認された久留倍官衙遺跡の各時期に関する遺構・遺物・性格を解説  | 古代の役所の姿(役所の役割や民の生活など)を紹介し、古代伊勢国朝明郡の特徴を解説  | 672年「壬申の乱」、740年「聖武天皇東国行幸」と伊勢国朝明郡の関わりを解説  | ゆかりの地をめぐる  | 古代の役所の仕事の一部、遊び、衣装の着付けを体験   | I・II・IIIの内容を視覚(映像)で解説  | 常設展示に加え、久留倍官衙遺跡に関する事項について、掘り下げて説明  |
| 内容                | <ul style="list-style-type: none"> <li>久留倍官衙遺跡の位置</li> <li>久留倍の全史</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>国史跡になった理由</li> <li>久留倍官衙遺跡の成立、終焉</li> <li>I期:郡衙政庁、駅家の可能性<br/>政庁の機能 正殿・脇殿・八脚門</li> <li>II期:長大な建物(桁行30m)政庁を移設して建設</li> <li>III期:正倉院 正倉の機能 正倉、区画溝(院)</li> <li>久留倍官衙遺跡と全国郡衙遺跡との比較</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>【古代の役所の姿】</li> <li>奈良時代とは 中央集権国家(国一地方)</li> <li>古代の役所の組織、仕事、役人の生活</li> <li>民の生活 衣食住</li> <li>【朝明郡】</li> <li>古代朝明郡内の郷(田光、杖郷、額田、大金、豊田、訓覇)とその機能</li> <li>古代朝明郡の生産・集落・古代寺院遺跡 神社</li> <li>古代の四日市</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>天武、聖武 二人の天皇の関わり</li> <li>壬申の乱</li> <li>聖武天皇東国行幸</li> <li>天武、聖武 二人の天皇が往った道</li> <li>万葉集の世界</li> <li>地元の伝承</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>壬申の乱や聖武天皇ゆかりのある史跡や資料館の紹介</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>木簡を作ってみよう</li> <li>古代の衣装を着てみよう</li> <li>古代の双六、囲碁で遊んでみよう</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>久留倍官衙遺跡の建物群の変遷</li> <li>壬申の乱と聖武天皇東国行幸</li> <li>万葉集</li> <li>古代の役所と人々の暮らし</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>久留倍官衙遺跡と朝明郡</li> <li>久留倍官衙遺跡の時代の役所と民衆</li> <li>久留倍官衙遺跡出土の土器</li> <li>久留倍官衙遺跡の発掘調査成果</li> <li>久留倍官衙遺跡周辺の神社・寺院</li> <li>『古事記』・『日本書紀』・『続日本紀』に見る四日市</li> <li>須恵器と土師器の違い</li> <li>「くるべかんがいせき」って、ナニ?</li> <li>久留倍の現在・過去・未来</li> </ul> |
| 展示                | <ul style="list-style-type: none"> <li>空撮垂直写真(四日市市内)</li> <li>年表</li> <li>新聞記事(年表に含む)</li> <li>弥生土器、古墳時代の土器などを展示また来館者が触れるように</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>遺跡と伊勢湾を望む航空写真</li> <li>建物復元模型(1:300、3期分)</li> <li>遺構変遷図</li> <li>遺構写真パネル</li> <li>出土土器(須恵器円面硯、転用硯、墨書土器、緑釉陶器、埋納土器一式)</li> <li>古代の役人の仕事道具 図</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>朝明郡内の郷位置図</li> <li>民の負担(税) 租・調・雑徭など 図</li> <li>朝明郡記名木簡4点(レプリカ・写真) 説明 朝明郡木簡「伊勢国朝明郡褥多里」「伊勢国朝明→」</li> <li>古代の役所の組織(郡司の仕事)</li> <li>古代の役所の仕事、役人の衣食住 図、写真、衣装</li> <li>朝明郡内の遺跡出土遺物(大膳寺など)</li> <li>民の衣食住 図、写真、衣装</li> <li>周辺の集落・官衙関連遺跡等地図</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>天皇の系譜図</li> <li>壬申の乱、聖武天皇行幸の地図、往った道</li> <li>行程現代の写真パネル</li> <li>万葉集 聖武天皇、大伴家持が詠んだ歌</li> <li>地元の伝承史跡 天武天皇迹太川御遷拝所跡、鏡ヶ池、聖武天皇社の紹介</li> <li>『日本書紀』『続日本紀』とは</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各地の関係資料館の写真パネルやパンフレットを設置</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>朝明郡木簡「伊勢国朝明郡褥多里」「伊勢国朝明→」</li> <li>古代衣装試着</li> <li>古代の役人の仕事道具 筆、硯、文机、水滴、刀子</li> <li>双六、囲碁</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>映像 3分または5分×2本程度作成</li> <li>写真を利用したスライドショー</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>解説員、映像、ワークシート</li> </ul>  |
| (展示補完) Q&A ワークシート | <ul style="list-style-type: none"> <li>今、自分はどこに立っているのか</li> <li>今から何年前のことか</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>東を向く政庁 どうして東を向いているのか?</li> <li>政庁がなくなってしまう(移動してしまう)のは何故でしょう?</li> <li>正倉院には何が入っていたの?</li> <li>正倉に入る米の量は?</li> <li>土器は何に使用されたか?</li> <li>須恵器、土師器、緑釉陶器、灰釉陶器って何?</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような服を着ていたのか? 貴族、官吏、民衆</li> <li>古代の役人の一日(現代との比較)</li> <li>何を食べていたのか? 貴族、役人、民衆</li> <li>どんな家に住んでいたのか?</li> <li>トイレはどこだ?</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>何故、朝明郡に立ち寄ったのか?</li> <li>どれくらいの人たちが来たのか?</li> <li>交通手段は?</li> <li>何故、大海人皇子は天照大神を拝んだのか?</li> <li>大海人皇子(天武天皇)は何をした人?</li> <li>聖武天皇は何をした人?</li> </ul>                |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>木簡で何?</li> <li>他の遊びは?</li> </ul>  |  |  |

## その他

- 壁一面を使つての、正倉に稲を入れ込んでいる絵、西からの空撮写真
- 正殿、八脚門から東を望んでいる絵。太陽、伊勢湾、海岸平野が見える
- 触れる模型、土器

説明・協議事項 (140826)

**[ホール]**

- 横長の年表 (2m×0.9m)
- 展示ケース 土器を係員が出して、触らせるように。
- 床面に四日市市の航空写真を張り付ける。規模は2m×2m=4㎡、縮尺は1/12,800、地図上に久留倍官衙遺跡と市内小中学校を記載することを想定している。

**[学習展示室]**

- 展示順路 右回り or 左回り  
学習展示室と研修室との間に可動式の仕切り板を設け、イベント等の使用の際に仕切り板を収納し両室をつなげるようにしている。そのため、壁にはパネル等の展示はできず、壁前にも展示物は置けないことになる。今回の案として、体験型ブースとして「木簡に字を書こう」を仕切り板の壁際に設置し、必要なときに移動させるよう考えている。  
上記の前提で考えたとき、右回りだと学習展示室に入ったときに、一番に目に付くのが体験型ブースとなる。一方、左回りにすると学習展示室に入っただけで直角に誘導する必要があり、また左回りは文書パネルが右追いのため、逆となる。

- パネルの内容 I、II、IIIブースごとの説明  
新たにエピローグを加える  
イラスト作成予定 ・政庁を西から鳥瞰し、伊勢湾・太陽を描く  
・正倉にイネを運び込んでいる  
・他にイラストの要望があれば描く  
  
遺構写真の選択 I期 政庁、八脚門、正殿 裾部建物 SB412  
II期 長大な建物 SB437・439、裾部の建物 SB409  
III期 正倉 SB400 など  
  
万葉集 表記の仕方はどうするのか

- 展示物の検討 ・土器一覧  
・木簡レプリカ作成 「朝明郡」記載の木簡が4点あり、その内2点は削り屑である

- 遺構模型 I-②期、II-①期、III-②期  
1/300を予定。ディテールは表現できない

- 体験ブース 簡易な木簡作成  
展示室を汚さない工夫 または  
硯などのレプリカまたは模倣品の作成

- 映像展示 ・プロジェクターのほか、映像ブースを設ける  
プロジェクターは大人数や講座の際に使用。普段は映像ブースで対応  
壁を使用しないときは久留倍の遺構写真を見せる  
・当初の案通り、壁にプロジェクターで映像を映すようにするか  
来訪者はスイッチャーで映像を選択。映像を映さないときは壁はなににもなし

- 映像内容
- ・壬申の乱（業者作成）
  - ・聖武天皇東国行幸と万葉集（業者作成）
- ※久留倍官衙遺跡の内容、映像を入れ込んでいく  
必要があれば社会教育課で写真等を使用して作成

- 木簡レプリカの作成
- ・業者に依頼。監修は奈良文化財研究所

○チェック依頼

基本を整備検討委員会に示し了解を得たのち、詳細について各専門委員にチェックを依頼する

- ・イラスト 特に建物
- ・映像 万葉集
- ・パネル文言
- ・模型
- ・木簡 奈良文化財研究所が監修

## 展示テーマⅠ 久留倍官衙遺跡

|    | 場所    | 項目              | 内容              | サイズ(mm)       | 備考         |
|----|-------|-----------------|-----------------|---------------|------------|
| 1  | 壁面    | 章立てパネル          | プロローグ(国指定経緯)    | 900×500       |            |
| 2  | 壁面    | タペストリー(パネル)     | 航空写真            | 2400×2000     |            |
| 3  | 壁面    | パネル             | 発掘された久留倍官衙遺跡    | 500×600       |            |
|    |       |                 | 遺構配置図           | 500×600       |            |
| 4  | 壁     | 展示ケースB(覗きケース)   | 出土遺物            | 1000×500×1200 | 展示台・キャプション |
| 5  | ケース周囲 | 手すり台(ケース保護・学習台) | 遺物解説            | 幅350高さ750     |            |
| 6  | ケース壁面 | パネル             | 写真(政庁)          | 500×600       |            |
| 7  |       |                 | イラスト(役所の風景)     | 500×600       |            |
| 8  | ケース壁面 | パネル             | 写真(正倉院)         | 500×600       |            |
| 9  |       |                 | イラスト(倉へ運ぶ風景)    | 500×600       |            |
| 10 | 北壁    | 模型(1:300)       | 3時期分の遺跡範囲模型     | 2400×600×1100 |            |
| 11 | 模型 壁面 | タペストリー(パネル)     | 航空写真            | 4500×2800     |            |
| 12 | 模型 左前 | イーゼル            | 模型解説+変遷図(3時期分)  | A2程度          |            |
| 13 | 壁面    | 映像コーナー          | 多人数説明、講座パワーポイント | プロジェクター       |            |
| 14 | コーナー  | 映像コーナー          | 個人 映像選択式        | モニター          |            |

## 展示テーマⅡ 古代の役所と伊勢国朝明郡

|   | 場所 | 項目          | 内容         | サイズ(mm)   | 備考 |
|---|----|-------------|------------|-----------|----|
| 1 | 壁面 | 章立てパネル      | 律令国家体制と朝明郡 | 900×500   |    |
| 2 | 壁面 | タペストリー(パネル) | 郡郷復元+集落+寺院 | 1200×1800 |    |
|   |    |             | 解説         | 500×600   |    |
| 3 | 壁面 | パネル         | 古代の役所      | 500×600   |    |
| 4 | 壁面 | パネル         | 郡司の地方支配    | 500×600   |    |

|   |       |                 |             |              |            |
|---|-------|-----------------|-------------|--------------|------------|
| 5 | 壁面    | パネル             | 民衆と税制       | 500×600      |            |
| 6 | 壁面    | パネル(イラスト)       | 事務をする様子(木簡) |              |            |
| 7 | 壁面    | 展示ケースA          | 木簡レプリカ(朝明郡) | 500×500×1200 | 展示台・キャプション |
| 8 | ケース周囲 | 手すり台(ケース保護・学習台) | 木簡解説        | 幅350高さ750    |            |

### 展示テーマⅢ 壬申の乱と聖武天皇東国行幸

|   | 場所 | 項目     | 内容             | サイズ(mm)   | 備考 |
|---|----|--------|----------------|-----------|----|
| 1 | 壁面 | 章立てパネル | 壬申の乱と聖武天皇東国行幸  | 900×500   |    |
| 2 | 壁面 | パネル    | 壬申の乱、聖武天皇行幸行程図 | 1200×2400 |    |
| 3 | 壁面 | パネル    | 天皇家系譜図         |           |    |
| 4 | 壁面 | パネル    | 壬申の乱           | 500×900   |    |
| 5 | 壁面 | パネル    | 聖武天皇東国行幸       | 500×900   |    |
| 6 | 壁面 | パネル    | 万葉集            | 500×900   |    |

### エピローグ

|   | 場所   | 項目          | 内容             | サイズ(mm) | 備考 |
|---|------|-------------|----------------|---------|----|
| 1 | 壁面   | パンフレット置台に付属 | 関連史跡、施設紹介文     | 600×500 |    |
| 2 | コーナー | パンフレット置台    | 関連遺跡、施設のパンフレット |         |    |

### 木簡体験ブース

|   | 場所 | 項目          | 内容 | サイズ(mm)       | 備考 |
|---|----|-------------|----|---------------|----|
| 1 | 壁面 | 木簡体験ブース台 板間 |    | 2000×1000×300 |    |
| 2 |    | 文机          |    | 2台            |    |
| 3 |    | 円面硯         |    | 2個            |    |
| 4 |    | 筆、墨、木簡      |    | 2式            |    |

## ホール

|   | 場所   | 項目    | 内容            | サイズ(mm)      | 備考  |
|---|------|-------|---------------|--------------|---|
| 1 | 壁面   | パネル   | 年表            | 2000×900     |   |
| 2 | コーナー | 展示ケース | 久留倍出土 古代以外の土器 | 2000×500×950 | 古代だけでなく他の時代もあることが分かるように。希望者が土器に触れるよう、係が出す |

映像展示の内容

コンセプト:五感で  
感じる久留倍遺跡  
の魅力

| 項目    |              | 内容                       | データ元                       | データ元                | 撮影候補地                | 伝えたい情報           |
|-------|--------------|--------------------------|----------------------------|---------------------|----------------------|------------------|
| 久留倍遺跡 |              | 発掘現場                     | ちゃんねるよっかいち(VOL.536)【手話】    |                     |                      | 調査時の久留倍遺跡        |
|       |              | 上空からのカット                 | ちゃんねるよっかいち(VOL.536)【手話】    |                     |                      |                  |
|       |              | 知多半島方面のカット               | ちゃんねるよっかいち(VOL.536)【手話】    |                     |                      |                  |
| 壬申の乱  |              | 『日本書紀』写本                 |                            |                     |                      | 史実の記録            |
|       |              | 壬申の乱の地図                  | 四日市市教育委員会2009「企画展 古代朝明の風景」 | 提供: 静止画             |                      | 古代史の舞台           |
|       |              | 東アジアの地図                  | 新規or市博の                    | 提供: 静止画             |                      | 時代背景と国際情勢の変化     |
|       | 6月22日        | 宮滝遺跡 上空からのカット            |                            | 提供: 静止画             |                      | 大海人皇子の挙兵した場所     |
|       |              | 宮滝遺跡 第44次調査のカット          |                            | 提供: 静止画             |                      |                  |
|       |              | 宮滝遺跡 園池遺構SG01・02出土土器のカット |                            | 提供: 静止画             |                      |                  |
|       |              | 山中の行程イメージ                |                            | 新規                  | 市内山中で                | 山道を歩くイメージ        |
|       |              | 復元武人像                    |                            | 新規                  | 飛鳥資料館                | 市博の旧常設(飛鳥資料館の模型) |
|       |              | 壬申の乱の戦い模型                |                            | 新規                  | 飛鳥資料館                | 市博の旧常設           |
|       |              | 名張駅家を焼くイメージ              |                            | 新規                  |                      |                  |
|       | 6月24日        | (名張)横河の流れ                |                            | 新規                  | 名張川                  | 夜半に占い            |
|       |              | 伊賀駅家を焼く                  |                            | 新規                  |                      |                  |
|       |              | 河曲の坂本で、休憩                |                            | 新規                  |                      | 日暮れ時、皇后、輿を止めて休む  |
|       | 6月25日        | 三重郡衙を焼くイメージ              |                            | 新規or市博の旧常設          | 采女町付近                | 夜、郡家を焼く、雨が降っている  |
|       | 6月26日        | 天武天皇遙拝所【県史跡】             |                            | ちゃんねるよっかいち(VOL.536) |                      |                  |
|       | 川の流れ         |                          | 新規or市博の旧常設                 | 市内の河川               | 迹太川の流れ               |                  |
|       | 朝熊山方面のカット    |                          | 新規                         | 市役所屋上               | 伊勢方面を遙拝、辰時(7~9時)     |                  |
|       | 大津皇子         |                          | 提供: 静止画                    |                     | 大津皇子の合流              |                  |
|       | 不破郡 上空からのカット |                          | 提供: 静止画                    |                     | 朝明郡家へ着くまでに、不破関を防いだ情報 |                  |
|       | 不破関 復元模型のカット |                          | 提供: 静止画                    |                     |                      |                  |

|  |       |               |  |         |                         |
|--|-------|---------------|--|---------|-------------------------|
|  |       | 郡家(『日本書紀』の表記) |  |         | 朝明郡家へ着いてから、不破・東海・東山への派遣 |
|  | 6月27日 | 桑名郡家          |  |         | 26日に桑名郡家で1泊する           |
|  | 7月22日 | 瀬田唐橋遺跡        |  | 提供: 静止画 | 激戦地のひとつ                 |
|  |       | 飛鳥浄御原宮模型      |  |         | 檀考研博<br>天武天皇に即位         |

|               |            |                |  |            |              |
|---------------|------------|----------------|--|------------|--------------|
| <b>聖武天皇行幸</b> |            | 『続日本紀』写本       |  |            | 史実の記録        |
|               |            | 『万葉集』写本        |  |            | 音読           |
|               |            | 地図             |  | 提供: 静止画    | 古代史の舞台       |
|               | 10月29日     | 平城宮跡 大極殿・朱雀門   |  | 提供: 静止画    | 奈良時代の首都      |
|               |            | 騎兵・史部400人      |  |            | 行幸、騎馬隊の様子    |
|               | 11月2日      | 伊勢国河口頓宮        |  | 提供: 静止画    | 10日間滞在       |
|               | 11月3日      | 伊勢神宮に奉幣        |  |            |              |
|               |            | 藤原広嗣処刑の奏届く     |  |            |              |
|               | 11月14日     | 伊勢国赤坂頓宮        |  |            |              |
|               |            | 松原(古地図の写し)     |  | 新規or市博の旧常設 | 皇学館<br>松原の場所 |
|               |            | 伊勢湾の映像         |  | 新規         | 市内の海岸<br>波の音 |
|               |            | 海山道神社          |  | 新規or市博の旧常設 |              |
|               |            | 聖武天皇社【市史跡】     |  | 新規         | 聖武天皇社        |
|               | 11月23日・24日 | 朝明行宮(『万葉集』の表記) |  | 新規         | 場所の考証(さざらい町) |
|               |            | 宴会の様子(歌を詠む)    |  |            |              |
|               | 12月11日     | 近江(禾津頓宮)       |  |            | 膳所城下町遺       |
|               | 12月15日     | 恭仁京へ到着、遷都      |  | 新規         |              |
|               |            |                |  |            |              |
|               |            |                |  |            |              |



| 優先順位 | 市博旧常設 |
|------|-------|
| ◎    |       |
|      |       |
| △    |       |
|      |       |
| ○    |       |
| ◎    |       |
| ◎    | ○     |
| ◎    | ○吉野   |
| ○    |       |
| △    |       |
| ○    | ○     |
| ○    |       |
| ○    | ○     |
| △    |       |
| △    |       |
| △    |       |
| △    |       |
| ○    | ○     |
| ◎    |       |
| △    | ○三滝川  |
| ○    |       |
| △    |       |
| ○    |       |
| ○    |       |

|   |      |
|---|------|
| ○ |      |
| ○ |      |
| △ | △復元品 |
|   |      |

|   |            |
|---|------------|
| ◎ |            |
| ◎ | ○御茶ノ水<br>大 |
| ◎ |            |
| ◎ | ○奈良文研      |
|   |            |
| ○ |            |
| ◎ |            |
| ○ |            |
|   |            |
| ○ | ○皇学館       |
| △ | ○          |
|   | ○          |
| ◎ |            |
| ○ |            |
|   |            |
|   |            |
| △ |            |
|   |            |
|   |            |

# 久留倍官衙遺跡ガイダンス施設学習展示室パネル（案）

## I 久留倍官衙遺跡（章立てパネル）

久留倍官衙遺跡は、伊勢湾を臨む垂阪丘陵の先端部に位置する、古代伊勢国朝明郡衙跡である可能性が高い遺跡です。その規模と配置などが明確な形で確認された点で大変貴重であり、古代日本の地方支配体制を具体的に示すものとして重要であることから、平成 18 年に国史跡に指定されました。

### （解説パネル 1）

#### 久留倍官衙遺跡と朝明郡衙

地域の豪族から選ばれた郡司の支配拠点である郡衙は、郡庁（政庁）、役所群、郡司の居館、正倉院などの施設をもち、郡司の氏寺なども近隣に設けられることが一般的でした。久留倍官衙遺跡は官衙の政庁や正倉院などが時期ごとに場所を変えて展開していることから、朝明郡衙を構成する施設が部分的に確認されたと考えることができます。

一方、政庁が東面する特殊性から、古代に中央の都と地方とを結ぶ官道沿いに 16Km ごとに置かれた「駅家」ではないかとの考えもあります。

（遺構配置図）

### （解説パネル 2）

#### 久留倍官衙遺跡の変遷

発掘調査で見つかった建物群は大きく 3 期に分けられます。Ⅰ期（8 世紀前半）は正殿、脇殿、八脚門を整然と配置する政庁、Ⅱ期（8 世紀中頃）は長大な建物群、Ⅲ期（8 世紀後半）は倉庫群からなる正倉院、と時期により異なった性格を示します。とくに、政庁は東を正面とする点が特徴です。またⅡ期の長大な建物群は、聖武天皇が東国行幸に宿泊した朝明頓宮の関連施設の可能性が指摘されています。

（遺構写真）Ⅰ期 政庁、八脚門、正殿 裾部建物 SB412

Ⅱ期 長大な建物 SB437・439、裾部の建物 SB409

Ⅲ期 正倉院、正倉 SB400 など

**Ⅰ期** 丘陵の頂部平坦面に東を正面とする「政庁」が建てられます。正殿・脇殿・八脚門を配し、正殿の前面には広場（前庭）があります。政庁の後側には大きな倉庫が建てられます。丘陵裾部には政庁正殿と同規模の建物があります。

**Ⅱ期** 丘陵の頂部平坦面にⅠ期の政庁を廃して、「長大な建物群」が建てられます。また丘

陵斜面と裾部にも方角をそそえた規則性のある建物群が並びます。「館」と呼ばれる宿泊施設や「厨」と呼ばれる食事を用意する建物であった可能性が考えられます。

**Ⅲ期** 丘陵斜面に、東面を基本とする倉庫群を区画溝で囲む正倉院が造られます。倉庫群は方位、柱筋、棟間距離がほぼそろい、一定の間隔を空けながらL字型に配置されます。

#### (手すりパネル)

遺物キャプション 須恵器、土師器、墨書土器、緑釉陶器

### Ⅱ 古代の役所と伊勢国朝明郡（章立てパネル）

古代の東アジアでは、律令による国づくりが進められていました。古代日本では、壬申の乱ののち、本格的に律令による国家体制の整備に取り組み、大宝元（701）年には大宝律令が完成しました。地方の行政単位は国一郡一里（のちに郷）と規定されています。

#### (解説パネル)

#### 古代の役所

平安時代の書物によると古代の郡の数は 591 郡あったとされ、そのうち発掘された郡衙は 224 件、国指定にされた郡衙は久留倍官衙遺跡を含め 30 件となります。郡庁（政庁）では政務のほか、儀式や宴会が行われていました。

また、郡衙に伴う正倉院には租を収めた倉庫群が建てられました。租は 30 年分を蓄積することが法律で定められていたので、多くの倉庫が必要でした。

#### 朝明郡と郡司

朝明郡衙が所在する朝明郡は、田光郷・杖部郷・額田郷・大金郷・豊田郷・訓覇（くるべ）郷の 6 郷で成り立っていました。久留倍官衙遺跡が在る場所は古代訓覇郷であり、字名として現代に残っていました。

郡司は終身制とされましたが、就くためには都（平城京）に行き、試練（テスト）を受け合格する必要がありました。郡司の人数は郡の大きさによって決められていました。

#### (郡司の等級表)

#### (解説パネル)

#### 民衆と税制

当時の民衆には戸籍を基に、租・庸・調・雑役などの負担が年代別に課せられていました。租は、口分田などの収穫から 3 % 程度の米を納めるものであり、郡衙の正倉に収められていました。また、稲粃を強制的に貸し出される出挙もありました。民衆にとっての郡衙とは、納税や種粃の借入と返却のために来る場所でした。

(税表イラスト)

## (手すりパネル)

### 木簡

紙がとても貴重であった古代には、木の切れ端にも文字を書き記し、不要になると表面を小刀で削っていました。当時の役人の筆記用具は筆と木の板と文字を書き記した木簡の表面を削るための小刀でした。

### 木簡の種類

記載してある内容から、文書（書類）、荷札、その他に分類できます。上下部分に切り込みのある形のもの、荷札として用いられたものです。現在見つかっているほとんどの荷札は、税として納められた物に付けられた木簡で、納税者の住所、名前、荷物、数量の物品名などが記されました。

## Ⅲ 壬申の乱と聖武天皇の東国行幸（章立てパネル）

壬申の乱に勝利した大海人皇子は天武天皇となり、本格的に律令による国づくりを進めました。また天武天皇の曾孫である聖武天皇も、かつて壬申の乱の際に大海人皇子が通った軍路をたどるように東国に行幸しました。現在の四日市市内で、聖武天皇や大伴家持によって詠まれた歌が『万葉集』に残されています。

## (解説パネル)

### 壬申の乱と朝明郡

壬申の乱とは古代日本史上最大の内乱です。大海人皇子と天智天皇の息子大友皇子が覇権を争い、戦いに勝利した大海人皇子が天武天皇として即位します。

『日本書紀』によると、天武元（672）年6月22日に吉野を出た大海人皇子は、6月26日、朝明郡に至ります。朝明郡の迹太川のほとりで天照太神を遙拝しているところへ、大津皇子が合流し、各地の豪族らも合流しました。さらに、不破道を封鎖した朗報も入ります。そして、朝明郡家で不破道・東海道・東山道方面へ指令を出しています。このように、朝明郡は軍勢が好転していく場所として記されています。

## 聖武天皇の東国行幸

『続日本紀』によると、天平 12（740）年 8 月、藤原広嗣の乱が起こり九州が騒然としていたころ、平城宮では聖武天皇が 10 月 29 日に右大臣橘諸兄ほか騎兵 400 人を徴発して東国行幸に出発しました。伊賀を経由し、伊勢国河口に逗留している間に広嗣捕獲の連絡が入り、また伊勢神宮に奉幣しています。

その後、伊勢国を北上し、11 月 23・24 日に朝明郡に逗留しています。さらに美濃・近江と行幸した聖武天皇は、恭仁京へ遷都を断行します。

## 万葉集

聖武天皇の東国行幸には歌人で有名な大伴家持も同行しており、朝明行宮に逗留していた際に作った歌が聖武一首、家持二首収録されています。また、伊勢国河口から平城宮へ戻った丹比屋主真人が四泥の崎の故事にちなんで詠む予定であった歌一首も収録されています。

聖武天皇 「妹に恋ひ吾の松原見渡せば潮干の潟に鶴鳴き渡る」

大伴家持 「大君の行幸のまにま吾妹子が手枕まかず月そ歴にける」

「御食つ国志摩の海人ならしま熊野小舟に乗りて沖辺漕ぐ見ゆ」

丹比屋主真人 「後れにし人を思はく四泥の埒木綿取りしでて好往とそ念ふ」

## エプローグ ゆかりの地を巡る（章立てパネル）

壬申の乱や聖武天皇の東国行幸にゆかりのある史跡や資料館を巡りませんか。定期的に各地の展示施設をご案内しています。

### (解説パネル3)

#### 久留倍官衙遺跡と古道

中央の都と地方とを結ぶ交通制度として官道が整備され、四日市市内にも東海道が通っていました。約 16 kmごとに駅家が整備され、役人が公用に利用していました。(74 字)

### (解説パネル)

地域の豪族から選ばれた郡司の主な仕事は右表のとおりでした。

#### 郡司の1年

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 1月1日   | お正月に国府で朝拝したあと、宴会に出席     |
| 2月     | 祭礼(春時祭田)を行い労役差発と徴税の最終取締 |
| 3月     | 出挙による種粃領布               |
| 4～6月   | 田植えの食糧・魚酒労働のための出挙       |
| 7～9月   | 収穫                      |
| 7月～    | 調糸の提出と麦の播種              |
| 8月     | 調庸物の起輸と放生会              |
| 9月     | 田租の起輸・出挙返納              |
| 10～12月 | 力役徴発                    |
| 10月    | 訴訟の取り扱い                 |
| 11月    | 新嘗祭                     |











# ゆかりの地をめぐる

壬申の乱や聖武天皇の東国行幸にゆかりのある史跡や資料館を巡りませんか。定期的に各地の展示施設をご案内しています。

# I 久留倍官衙遺跡

久留倍官衙遺跡は、伊勢湾を臨む垂阪丘陵の先端部に位置する、古代伊勢国朝明郡衙跡である可能性が高い遺跡です。その規模と配置などが明確な形で確認された点で大変貴重であり、古代日本の地方支配体制を具体的に示すものとして重要であることから、平成 18 年に国史跡に指定されました。

## Ⅱ 古代の役所と 伊勢国朝明郡

古代の東アジアでは、律令による国づくりが進められていました。古代日本では、壬申の乱ののち、本格的に律令による国家体制の整備に取り組み、大宝元（701）年には大宝律令が完成しました。地方の行政単位は国一郡一里（のちに郷）と規定されています。

# Ⅲ 壬申の乱と 聖武天皇の東国行幸

壬申の乱に勝利した大海人皇子は天武天皇となり、本格的に律令による国づくりを進めました。また天武天皇の曾孫である聖武天皇も、かつて壬申の乱の際に大海人皇子が通った軍路をたどるように東国に行幸しました。現在の四日市市内で、聖武天皇や大伴家持によって詠まれた歌が『万葉集』に残されています。